

大相撲小田原場所

8月に小田原アリーナで開催
チケット販売は5月1日予定

「大相撲小田原場所」は、毎年8月に愛知県小田原市で行われる。今年も8月25日(土)～29日(月)の5日間、小田原アリーナで開催される。チケット販売は5月1日(土)から開始される。今年も、大相撲小田原場所実行委員会(会長 小田原市長 加藤 隆)が主催する。今年も、大相撲小田原場所実行委員会(会長 小田原市長 加藤 隆)が主催する。今年も、大相撲小田原場所実行委員会(会長 小田原市長 加藤 隆)が主催する。

大相撲小田原場所実行委員会(会長 小田原市長 加藤 隆)が主催する。今年も、大相撲小田原場所実行委員会(会長 小田原市長 加藤 隆)が主催する。今年も、大相撲小田原場所実行委員会(会長 小田原市長 加藤 隆)が主催する。



大相撲小田原場所 8月25日開催のポスター。力士の顔写真と大会の日程、会場情報が掲載されている。

小田原アリーナで8月25日(土)～29日(月)の5日間開催される「大相撲小田原場所」の「観戦チケット」の一般販売が5月1日(土)午前10時から開始される。チケット販売は、小田原アリーナで実施される。



ぴあ 2017 March 3月号の広告。大相撲小田原場所のチケット情報や、ぴあの特典が紹介されている。



大相撲小田原場所 8月25日開催の告知。チケット販売の日程や、会場までのアクセス情報が掲載されている。



大相撲小田原場所 8月25日開催の告知。チケット販売の日程や、会場までのアクセス情報が掲載されている。



神静民報 大相撲小田原場所 8月開催の告知。記事のタイトルと概要が掲載されている。



神奈川 大相撲小田原場所 城下町に根付け。記事のタイトルと概要が掲載されている。



大相撲小田原場所 8月開催の告知。記事のタイトルと概要が掲載されている。



大相撲小田原場所 8月開催の告知。記事のタイトルと概要が掲載されている。



大相撲小田原場所 8月開催の告知。記事のタイトルと概要が掲載されている。



4横綱勢ぞろい 6000人魅了。大相撲小田原場所の観客動員が6000人を突破したという記事のタイトルと概要が掲載されている。



大相撲小田原場所 8月開催の告知。記事のタイトルと概要が掲載されている。



大相撲小田原場所 8月開催の告知。記事のタイトルと概要が掲載されている。



我がまちに国技「相撲」を!プロジェクト「大相撲 小田原場所」 報告書

- 主催 一般社団法人小田原城下町
大相撲小田原場所 実行委員会 (順不同・敬称略) 42
 - ◆牧島 かれん ◆神山 洋介 ◆井上 よしゆき ◆守屋 てるひこ ◆小澤 良央
 - ◆小田原箱根商工会議所 ◆一般社団法人小田原市観光協会 ◆公益社団法人小田原法人会
 - ◆(一社) かながわ西観光コンベンション・ビューロー ◆小田原市商店街連合会
 - ◆公益財団法人小田原市体育協会 ◆一般社団法人小田原医師会 ◆公益社団法人小田原青年会議所
 - ◆小田原市PTA連絡協議会 ◆小田原市文化連盟 ◆合同会社まち元気小田原
 - ◆NPO法人小田原ブランド元気プロジェクト ◆小田原新聞販売店組合 ◆平塚新聞販売店組合
 - ◆日本郵便(株) 南関東支社 ◆小田原箱根エネルギーコンソーシアム
 - ◆鈴鹿かまぼこ本店(株) ◆万葉倶楽部(株) ◆(株) 天成園 ◆(株) 東海ビルメンテナス
 - ◆(株) 古川 ◆(株) 山安 ◆ドコモショップ小田原店((株) アベストミヤケ) ◆(株) エスアールシー
 - ◆(株) ういろう ◆スポーツプラザ報徳 ◆富士フィルム(株) 神奈川工場◆富士フィルム生活協同組合
 - ◆(株) 小田急トラベル ◆小田原ガス(株) ◆a uショップ西湘・秦野店 ◆横浜銀行◆さがみ信用金庫
 - ◆(株) タウンニュース社 ◆まちの情報紙(株) ポスト広告 ◆J:COM小田原 ◆(株) カナオリ
- 協力 ◆公益財団法人日本相撲協会
 - ◆学校法人新名学園 旭丘高等学校 ◆金太郎相撲連盟 ◆神奈川県赤十字血液センター
 - ◆株式会社ホームホールディングス ◆小田原相撲連盟
- 後援 ◆小田原市 ◆公益社団法人小田原青色申告会 ◆社会福祉法人小田原市社会福祉協議会
 - ◆J A かながわ西湘 ◆(株) 神静民報社 ◆神奈川県中小企業家同友会 西湘支部



【会場風景】

- ◆目的: ①地域活性化
(小田原城下町構想の実現に向けた
相撲文化普及&定着・観光拠点創り)
- ②青少年育成
- ◆日時: 2017年 8月25日(金) 8:00~15:30
(準備設営: 8月24日(木) 終日)
- ◆会場: 小田原アリーナ(神奈川県小田原市中曾根 263)
- ◆一般チケット発売開始及び記者発表: 2017年5月1日(月)
- ◆来場者: 約 6,000 名
- ◆タイムスケジュール

8:00	開場・公開稽古
10:30	オープニング (旭丘高校吹奏楽部)&ちびっこ相撲
11:00	幕下取組
11:45	お好み(初切、甚句、太鼓)
12:30	十両土俵入、十両取組
13:30	4 横綱土俵入
13:40	セレモニー (小田原市長挨拶・勸進元挨拶・ 目録及び感謝状贈呈)
14:00	幕内取組
15:00	弓取式・打ち出し



【小田原市長挨拶】



【勸進元挨拶】



【4 横綱の土俵入り】

【地域新聞号外発刊・配布】



【4 横綱と一緒に記念撮影】



【5月1日 記者会見及び歓迎パーティー集合写真】



【小田原市・警察署 表敬訪問】



【ちびっこ相撲練習 全9回】



【ちびっこ相撲本番 94名参加】



【献血活動】

◆寄付：小田原市社会福祉協会を通じて、チケット寄付104席
ちびっこ相撲を通じて、教育関係者に対してチケット寄付200席（計150万円相当）

◆社会貢献活動：

①献血バス 8月25日（金）10:00～16:00 小田原アリーナ入口駐車場横

協力：神奈川県赤十字血液センター

受付：79名（採血量：200ml×6名、400ml×51名）計21,600ml

②ちびっこ相撲（小学1～3年生）94名

練習：本番まで 全9回

協力：（指導）学校法人新名学園 旭丘高等学校、金太郎相撲連盟

（受付）小田原市体育協会

（広報）小田原市教育指導課 小田原市内全小学校1～3年生配布

③地域の企業・団体にチケット販売手数料10%で地域貢献

【事前販売協力企業・団体】 4月1日～4月25日 計11窓口

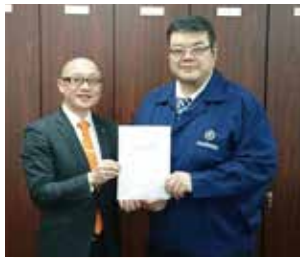
・小田原箱根商工会議所・（株）ういろう・小田原市商店街連合会・小田急トラベル・小田原ガス（株）
・公益財団法人小田原市体育協会・小田原・平塚新聞販売組合・（株）古川・au ショップ西湘・秦野店

【一般販売協力企業・団体】 5月1日～8月24日 計8窓口

・事務局・小田原箱根商工会議所・小田原新聞販売組合・（株）古川・小田原ガス（株）
・イトーヨーカドー・富士フィルム生協・チケットペイ



1年半を超える日本相撲協会との調整を経て
2017年1月28日に小田原場所開催契約



そこから・・・

開催趣旨を皆様にお伝えしながら・・・

各団体・企業様にPR及び講演周り・・・
その数約300箇所

相撲を媒介に人の和ができはじめ・・・

様々な人々や団体が、具体的に動いて頂き・・・

実行委員会・協力・後援参加団体・・・55団体

<広報PR協力>

小田原・平塚新聞販売店組合（新聞折込20万部+α）
タウンニュース・ポスト広告・神静民報・J:COM小田原
<我がまちの相撲の歴史伝達協力> 小田原法人会
※別紙参照

協力・協賛企業・・・109企業・団体
※当日パンフレット参照

高校「旭丘高等学校」も学校ぐるみで参画

ちびっこ相撲 練習場開放 全9回 計94名
準備・当日ボランティアスタッフ120名

地域の企業・団体も参画

地元の青年団体もボランティアスタッフとして参画
(小田原青年会議所・商工会議所青年部・法人会青年部
㈱いろいろ様社員・金太郎相撲連盟スタッフ)



<< 大相撲小田原場所 開催趣旨 >>

日本国内において様々な団体が観光に力を入れ、その活力を様々なまちづくりに活かそうとしております。少子高齢化で社会のバランスが崩れそうになっている今、観光を起爆剤に、地方創生と地域に活気をもたらす施策を地域毎に模索しながら各地域は挑戦を始めております。世界規模での地域間競争に競り勝つ為には、今まで箱根に頼っていた観光を、小田原も追随し、その力を高め「自然と歴史文化」という箱根と小田原とセットでシティーセールスをする事で、我がまちにおける観光の魅力が倍増すると考えます。

昨年度から発信・提言されている小田原箱根商工会議所で担当を務めております「平成の城下町・宿場町構想」では、「世界から人が訪れたいくなる小田原城下町とはどんなものなのか。」と皆様方に問いかけさせて頂きました。その問いかけに対して、観光客や外国人の目線から見ても「わかりやすい日本文化」が我がまちのコンテンツとして必要であり、城下町・宿場町ならではの彩りで輝く、「来てよし、住んでよし」の笑顔と感謝で溢れる歴史文化テーマパークをめざしていこうと考えました。

そこで、我がまちにまだ完全に根付いていない「日本を代表する文化」に着目しました。特に、国技「相撲」を文化として取り込んでいく事で、共通の目標ができ始め、活性化に繋がり、相撲を通じて人の和ができ、地域教育や経済にも貢献できると考えました。相撲文化を普及させるために、今後も毎年開催し、我がまちにおける相撲文化発信の拠点創りや文化普及体制を同時に整え、観光に繋げ、魅力のひとつにしていくことをめざして参ります。皆様にもこの活動の趣旨をご理解いただき、広く活動のご協力を頂きたいと存じます。どうぞ宜しくお願いいたします。

大相撲小田原場所 勸進元
一般社団法人小田原城下町
理事長 杉崎 尚人

観光・インバウンドへの取り組み

アジア・中国の旅行会社経由で、添乗員や会社役員を招待。

小田原相撲連盟 発足

12名が発起人となり、2市8町の相撲文化振興へ



鍛山先発担当親方との交流

日本相撲協会より先発担当として鍛山親方（元寺尾関）が地域の皆様と交流し、相撲の良さを伝える

【公式サポーター「パーリーズ」】



【郵便局との連携】



【地元企業・協会関係のブース出店】



・(株)古川・(株)東海ビルメンテナンス・万葉倶楽部(株)・ドコモ・相撲グッズ土産ブース
・新聞販売店組合・郵便局・土産券引換ブース・飲食ブース

今年の成果と、今後の課題

《相撲文化を我がまちに根付かせる「城下町に相撲を！」》

「相撲に触れ、相撲を楽しむ機会を作る」

本年開催してみて、相撲ファンの層の厚さとその国民性や人気や奥深さを再確認しました。小田原市内より約7割4,000名の来場があり、4横綱のおかげもあり、皆様笑顔で帰っていったのが印象でした。イベントを通じて市内の地域活性に繋がりました。しかし今はその機会を創出することが年1回できるかどうかです。地元の皆様の協力により文化観光の拠点作りはもちろんのこと、様々な団体の皆様とご協力しながら相撲に触れ、相撲を楽しむ機会を創出して参ります。

「相撲教育」

礼に始まり礼に終わる。その相撲のしきたりや礼節は、教育に関してもその威力を発揮します。ちびっこ相撲の練習は、旭丘高校相撲部の岸田監督の9回に渡る指導により、「元気に声が出せるようになった」「よろしくお願いします」「ありがとうございました」が言えるようになった。と「他人や年上を敬い、配慮するようになった」と青少年育成やしつけの観点からも相撲を教育の分野で推進できると感じました。

「相撲文化を根付かせる“地域の和”」

夏巡業の小田原場所の年1回では我がまちに相撲文化を根付かせることは到底不可能です。今年は、初年度としてアリーナの所在地である小田原市中心に声掛けをしました。その中でも既存団体や現状交流のある企業様中心と、勤進元の既存のネットワークの中での開催でした。地方巡業ですと気軽に相撲を楽しむという事はできませんが、今回培った日本相撲協会とのネットワークを活かし、各部署ごとに協力体制を持っていくことにより、その頻度を増やしていけるように、各団体の特性を活かした形で連携体制の強化を図って参ります。また、今年発足した「小田原相撲連盟」と、「旭丘高校相撲部」「金太郎相撲連盟」とも連携し、更なる相撲文化の発展と振興に務めて参ります。また、先日先発親方で担当して頂いた鑑山親方（元寺尾関）より、部屋をあげて「ちゃんこの振る舞い」「餅つき大会」等のイベントの提案がありました。商店街等のイベントに重ねることで、さらなる交流が将来的にできそうです。

「インバウンド需要の取り込み」

今回スタンド20席をアジア・中国の旅行会社経由で、添乗員や会社役員を招待しました。巡業という文化に触れ、小田原・箱根を観光し、満足して帰国しました。今後さらに接点を持ち、500人単位で訪日外国人を誘客して参ります。

《地方巡業のイベントとしての反省》

「小田原アリーナの施設と周辺地域の環境も含めた施設の工夫」

収容人数に対する保有駐車場の低さ。交通手段の少なさ。最寄りの蛍田駅・富水駅前からアリーナまでの道の狭さ。周辺道路の環境。入口・導線の狭さ等、警察警備と打ち合わせを行い、当日を迎えましたが、想定以上の混雑がありました。対策として、1階席の客数を減らす。富水駅への誘導。更なるバスの活用を考えております。

「相撲を楽しむための観客席の作り方」

本年開催してみて、相撲ファンの層の厚さを実感しました。しかしその比率は高齢者が圧倒的に多く、相撲独特のマス席（フロアに座布団）のスタイルだと長時間の着座がキツく、椅子を出して欲しいとか簡易チェアを求める声や場所替えを求めてくるお客様がいらっしゃいました。次回は、イス席を多くまた、マス席を広く足を伸ばせるように計画します。

「入場時の混雑対応」

もともと駐車場が足りない事により、電車が無料シャトルバスの利用を促しました。その結果、朝一から車で行くというお客様が予想以上に多く、開場8時から長蛇の列が発生しました。小田原警察署管轄の安全管理の持ち物検査に時間がかかり、入場まで時間がかかり、苦情が多く、警察に検査時間の短縮を相談し、対応しました。運輸については市と協力し、路線バスを各所から出したいと思っております。導線に関しては、1階席と2階席の観客を分けるように検討します。

「お帰りの際の工夫」

来場者全てのお客様が一斉にお帰りになるその時間は、混雑は予想しておりましたが、5000人以上という数は、想像を超えました。規制退場の導入と退場の導線を増やす。迎えの車の規制。周辺自治会との協議の上、アリーナから出る車のルートを確認します。

「協賛企業様への対応」

本年度は、観戦チケット、駐車場券、5m両国のぼり、会場内外へのバナー掲示、HPへのリンク、当日配布パンフレットへの広告掲示、ブース出店、うちわ口ゴ掲示、懸賞旗、鑑山親方との昼食会、横綱との記念撮影及び額付写真贈呈という協賛プログラムを進めさせて頂きました。協賛企業様と一緒に様々な活動をしてお互い高みをめざし、相乗効果を図って参ります。 ※別紙参照

【前日準備の様子】

